

報道機関 各位
(プレスリリース)



米子市長定例記者会見資料	
平成30年10月19日	
担当課 (担当者)	秘書広報課 (末次)
電話 (0859) 23-5372	

しろやま天空カフェの実施について



「海を臨む天空の城」米子城跡



しろやま天空カフェ (イメージ)

1 事業の目的・経過

本市におけるシティプロモーションの一環として、本市のランドマークである国指定史跡「米子城跡(しろやま)」の価値、魅力を再発見し、地域に対して一層の浸透を図ることでシビックプライドの醸成を狙うこととし、本年度5月に全庁公募を中心とした「シティプロモーション推進ワーキンググループ」を結成、活動してきたところです。

当該グループにおいて、文化観光局の取組等と連携しながら、「米子城跡」を親しみを込めて「しろやま」と呼んでいただける人を増やすべく、標記の取組を企画いたしましたので、お知らせいたします。

2 事業内容

米子城フェスタの当日(11/10)限定で、しろやま山頂にて「キャッスルマウンテン(しろやま)ブレンド」のコーヒーが飲める「しろやま天空カフェ」を開催します。ご協力いただくのは有限会社オールドニューの本池代表取締役。この日のために特別ブレンドを考案いただき、当日もドリップの腕を振るっていただきます(コーヒー無料)。

～ワーキンググループの思い～

《中心市街地のオアシスとして、アウトドアのフィールドとして。カップル、家族連れ等の憩いの空間に》

《オシャレな体験空間として、Instagram等のスポットに》

しろやまは標高約90m。米子市中心市街地で一番高い場所にて、「まち並み」と「歴史」を見下ろしていただきながら、特別な体験をして、しろやまをもっと好きになっていただきたい。

今までとは異なる層に、新しいイメージの「しろやまの楽しみ方」を提案するきっかけとし、しろやまの新しい価値を創出したいと考えています。また、地域の方々に日常的に愛されるコンテンツの商品化の可能性を探ることで、現行とは異なるアプローチを狙います。

裏面あり

【コーヒーコンセプト（イメージ）】

時代とともに移り変わってきたしろやまの形態、楽しみ方にコミットし、温度変化によって味わいの変化を楽しむコーヒーをイメージ。また、誰でも気軽に登ることができるしろやまをイメージし、誰もが飲みやすいさっぱりとしたクセのない味わいを目指す。※詳細は10/29に決定。

※コンセプトの詳細は、次の試飲会にて決定しますので、併せてご取材ください。

日 時 10/29（月）15：00～（1時間程度）

場 所 FORESTA（米子市上福原317-1）

参加者 本池社長、シティプロモーション推進ワーキンググループメンバー、その他

その他 取材にお越しの際は、事前に連絡をお願いいたします。

3 その他

<本池 達也 氏 プロフィール>



ラバール コーヒー焙煎・鑑定士 オールドニュー代表取締役。

2000年にイタリアンラバール「リトルイタリーカフェ」をブックカフェ1号店として米子市今井書店「本の学校店」に創業。自家焙煎をはじめ、SCAJ コーヒー鑑定士としてラバールを複数出店。2012年に代官山にlabLABAR 出店。現在、ラバール本店「フォレスタ（上福原）」にて、シェフ、バリスタ、コーヒー鑑定師、焙煎士をつとめる。

また、日本スペシャルティコーヒー協議会において、日本ブリューワーズ選手権のヘッドジャッジや、ワールドサイフオニスト選手権の世界ジャッジを務めるなど、山陰外での活動も精力的にこなす。